

第2回神奈川県中小企業・小規模企業経営の未病改善検討会 結果概要

日時：平成30年5月2日（水）10時00分から12時00分

場所：（公財）神奈川産業振興センター 大研修室（神奈川中小企業センタービル6階）

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 企業経営の未病の見える化について
 - (2) 企業経営の未病改善に係る支援策について
 - (3) その他

-
- 1 開会
（事務局より、開会及び資料の説明）

- 2 あいさつ
（中小企業部長よりあいさつ）

- 3 議事
 - (1) 企業経営の未病の見える化について

事務局より、資料1から資料3を用いて中小企業・小規模企業経営の未病を見える化するツールの素案及び同ツールを普及するための導入ペーパーについて説明したところ、出席者から次のような意見が出された。

ア 未病を見える化するツール（現状分析シート、将来リスク発見シート）について

- ・中小企業・小規模企業が未病に気付くきっかけづくりとしてはよくできている。
- ・シートには人材育成だけでなく、人材不足の視点も入れた方がよい。
- ・シートの質問の中に、答えづらいものや、良い、悪いの判断をしづらいものがある。入口としては、もっとシンプルにした方がよい。

イ シートの回答の見せ方について

- ・シートの質問に答えた結果がグラフにプロットされ、経営者が自社の特徴を客観的に見られるのはよい。
- ・回答の見せ方として、相談機関を紹介することに加え、経営者のためのアドバイスがあってもよいのではないか。

ウ 普及のための導入ペーパーについて

- ・導入として分かり易いものを作って広めるのはよいが、質問項目は誰が見てもそうだと納得するものにしなければならない。

エ ツールの普及等について

- ・シートは紙だけではなく、ネットやスマホでも提供した方がよい。
- ・相談機関がもっとコンサルティング機能の強化や相談機関相互の連携強化が必要である。
- ・相談機関のそれぞれの現場まで情報が提供され、仕組みの理解を深めることが大切である。
- ・シートを誰が配り、どう周知していくかが課題である。

(2) 企業経営の未病改善に係る支援策について

事務局より、資料4を用いて企業経営の未病改善に係る既存の支援策の概要について説明したところ、出席者から次のような意見が出された。

- ・県等が提供している支援のメニューが不足しているのではなく、こうした支援策が企業に知られていないことこそが問題である。
- ・これまで支援機関等を活用したことがない小規模事業者に対して、導入ペーパーをどう周知していくかが課題である。

(3) その他

事務局から今後のスケジュール（案）について説明し、第3回目を7月上旬に開催し、その後、7月から8月にかけてプレ試行を実施することです承された。